

1. 建物概要

建物名称	川崎工業株式会社新工場建設プロジェクト	BEE	1	BEEランク	B+	★★★
------	---------------------	-----	---	--------	----	-----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.9	/5	            

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_通称版

■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.2)

1-1 建物概要

建物名称	川崎工業株式会社新工場建設プロジェクト
建設地	静岡県菊川市加茂字山田1409 外5
用途地域	都市計画区域内
地域区分	6地域
建物用途	工場
竣工年	2026年2月 予定
敷地面積	49,364 m ²
建築面積	8,031 m ²
延床面積	9,201 m ²

階数	地上2F
構造	S造
平均居住人員	100 人
年間使用時間	4,320 時間/年(想定値)
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2024年10月23日
作成者	石塚 光一
確認日	2024年10月23日
確認者	石塚 光一

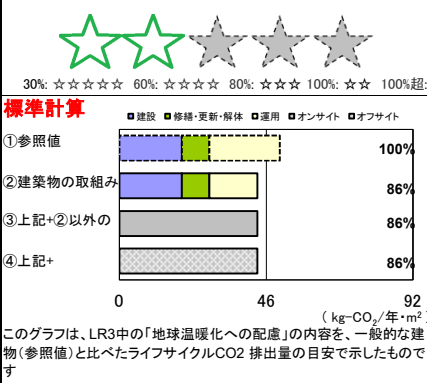
1-2 外観



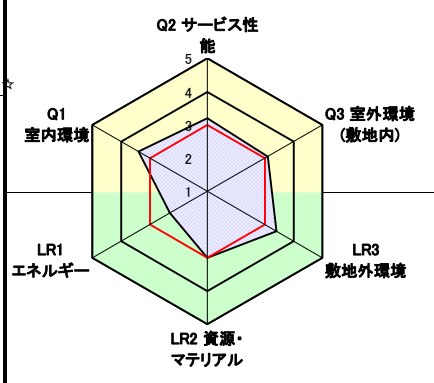
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



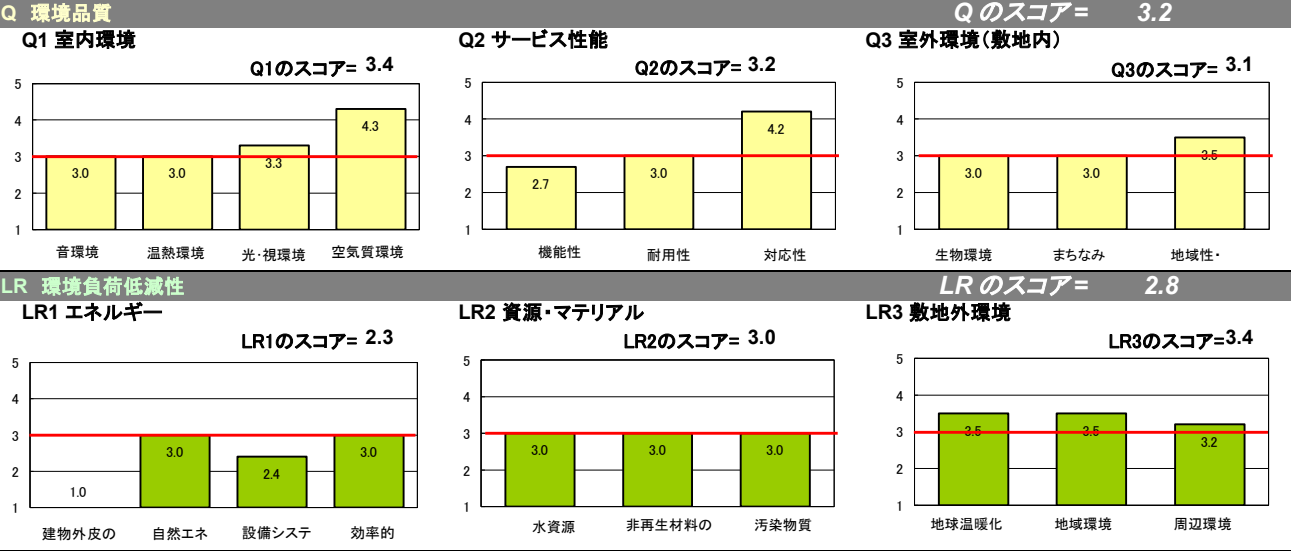
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
省エネルギー性の高い設備を搭載した建築物であるだけでなく、敷地境界線を越えて地球環境に及ぼす影響を低減する取組を行うことで、環境負荷低減性に優れた建築計画となるよう配慮した。 これはCASBEE静岡(2021年SDGs対応版)による評価結果です。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
全面的にF☆☆☆☆、事務室においてブラインドと庇を採用している。	高い階高を有している。	緑化、まちなみへの配慮もしている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建築物の設備における省エネルギー対策について配慮することで、設備システムの高効率化を行い、建築物を運用する際に発生するエネルギー消費を低減させた。	LGS下地、OAフロアを採用している。	駐車スペースの設置やごみ回収の計画を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される